

令和6年度 事業報告書

令和6年度は、心豊かに文化芸術を楽しんでもらうため、子どもを対象とした事業の充実、気軽に文化芸術に触れてもらう場の提供、及び文化芸術活動の支援に重点を置き、文化芸術に親しむきっかけづくり、市民の文化芸術活動の支援、文化芸術普及・情報発信事業の推進の3つの柱で下記のとおり事業を展開した。

第1 文化芸術に親しむきっかけづくり

(1) 子ども文化芸術事業 (決算額 11,266千円) 参加者:84校 / 7,234人

小学校へのアーティスト派遣「アーティストとであう」

子どもたちが小学校等で文化芸術を鑑賞・体験できる機会を創出し、文化芸術の魅力を伝える事業として小学校に国内外で活躍しているアーティストを派遣し、ダンス、演劇、美術、音楽、日本伝統文化、国際文化の体験型プログラムを実施した。

【ダンス】

内 容：オリジナルダンス作り
アーティスト：真崎千佳、山本泰輔 他
実施校：4校
実施学年：小学3・4年生
参加者：269人

【演劇】

内 容：演劇創作の過程を通じたコミュニケーションワークショップ
アーティスト：有門正太郎
実施校：3校
実施学年：小学3・5年生
参加者：216人

【美術】

内 容：絵具やクレヨンなどをダイナミックに使った表現活動
アーティスト：津島タカシ、村上信理
実施校：15校
実施学年：小学1～6年生
参加者：729人

【音楽】

内 容：室内楽アンサンブル、マリンバ
アーティスト：九州交響楽団、CiLi、VISIONS
実施校：20校
実施学年：小学1年～6年生
参加者：1,860人

【日本伝統文化】

内 容：能、狂言、箏、筑前琵琶
アーティスト：福岡市能楽協議会、箏曲鶯絃会、尾方蝶嘉ほか
実施校：17校
実施学年：小学4年～6年生
参加者：1,552人

【国際文化】

内 容：韓国伝統芸能、馬頭琴、西アフリカ伝統芸能
アーティスト：韓ソリ、ドラム馬頭琴楽団、劇団アフリカ
実 施 校：25校
実 施 学 年：小学1年～6年生
参 加 者：2,608人

(2) 社会参加促進事業（決算額 4,923 千円） 参加者：628 人

年齢や障がいの有無、性別や国籍に関わらず、誰もが文化芸術に触れ、親しむ機会を創出し、文化芸術活動を通じて社会の新しい関係性を築くことを目的とした事業を実施した。

① みんなでつくるダンス公演「Lay Your Hands On Me-福岡スペシャル-」

日本のコンテンポラリーダンス界を牽引してきたダンスカンパニー「コンドルズ」が福岡の障がい者アーティストチーム「福岡ハンドルズ」と共に創るダンス公演と、公演に向けワークショップとして、コンドルズと福岡ハンドルズによるマンツーマンのダンスレッスンを実施した。

ア 公演

- 開催日 令和6年12月8日(日)
- 会 場 南市民センター・文化ホール
- 参加料 一般2,500円、25歳以下1,500円、障害者手帳提示1,000円など
- 来場者 270人

イ ワークショップ

- 開催日 令和6年10月17日(木)～12月1日(日) 全7回
- 会 場 パピオルーム・大練習室、塩原音楽演劇練習場・大練習室
- 講 師 コンドルズ
- 参加料 無料
- 参加者 福岡の障がい者アーティスト 8人

② 特別支援学校アウトリーチ「音のかけはし」

(公財)アクロス福岡とともに、マリンバのアーティストを特別支援学校に派遣して、鑑賞・体験のプログラムを実施した。

- アーティスト CiLi、ダダダンス
- 実 施 校 3校(今津・東福岡・若久特別支援学校)
- 参 加 者 350人

(3) 文化芸術を活用したにぎわい創出事業（決算額 17,339千円） 来場者：3,280人

① 市民が楽しむアートカフェ事業

福岡アジア美術館と連携し、同館アートカフェにおいて、市民及び来訪者が気軽に文化芸術に触れることができる場を創出するため、アジアをはじめとする様々な国の音楽・舞踊や九州交響楽団のミニコンサート等を実施した。

・ダンスエクステンジ福岡2024	5月17,18,19日	550人
・親子で楽しむ九響モーニングコンサート	7月27日	450人
・MuchaMuchaM LIVE	9月14日	230人

②観光客が楽しむ文化・エンタメによる集客促進事業

ホテルへのチェックイン後のナイトタイムの時間帯に、福岡アジア美術館アートカフェにおいて来訪者が気軽に文化芸術に触れ、楽しむことができる音楽等のステージイベントを実施した。

- 実施期間 令和6年7月19日～令和7年3月28日
- 実施時間 18時半～19時(令和6年11月までは19時～19時半)
- 実施回数 31回
- 会 場 福岡アジア美術館アートカフェ
- 出 演 者 福岡音楽都市協議会登録アーティスト 他
- 来 場 者 2,050人

(4) その他(他団体との連携)

きびるフェス

NPO法人が主体となり、市内の音楽・演劇練習場の指定管理者とともに、舞台芸術に関わるすべての人へ向けてワークショップや演劇公演を実施する「きびるフェス」について広報及び運営の一部を支援した。

第2 市民の文化芸術活動の支援

(1) 第61回福岡市民芸術祭 (決算額 4,915千円) 参加行事数:128行事

市民の文化芸術の発表の場、身近に文化芸術に触れあう場として、音楽・舞台芸術・美術・伝統芸能など幅広い文化芸術団体が参加する総合的な文化芸術の祭典である市民芸術祭を開催した。

① 参加行事

10月から12月にかけて市内の施設で実施される活動を参加行事として認定し、一体的な広報や市施設使用料減免等の支援を行った。

- 開 催 期 間:令和6年10月1日(火)～12月31日(火)
- 市民参加行事数:128行事
(内訳)音楽50、美術18、演劇10、ダンス9、伝統芸能8、文芸10、メディア芸術6、その他17

② 主催事業

ア MuchaMuchaM LIVE(再掲:アートカフェ事業)

福岡アジア美術館「ベストコレクションⅡ-しなやかな抵抗」展及び、まちなかをアートで彩る市のFaN Weekのオープニングに合わせて、福岡アジア美術館のアートカフェにおいて音楽ライブを実施した。

- 公 演 名 MuchaMuchaM LIVE
- 開 催 日 令和6年9月14日(土)
- 会 場 福岡アジア美術館 アートカフェ
- 出 演 者 MuchaMuchaM(ムチャムチャム)、izcco(イズッコ)
- 来 場 者 230人(2回合計)

イ 福岡市民会館閉館コラボ企画「ありがとう!市民会館～さよならステージ～」

福岡市民会館の閉館と福岡市民芸術祭のコラボイベントとして、『市民会館から次のステージへ福岡市の文化を“つなぐ”』をキーワードに、市民芸術祭参加団体とプロのアーティストによるコラボステージを実施した。

- 公演名 市民芸術祭deアートな響演
- 開催日 令和7年1月12日(日)
- 会場 福岡市民会館
- 出演者 アバンギャルディ、福大附属若葉高校ダンス部、GERENTE PROJECT 他
- 来場者 1,300人

(2) FFACステップアップ助成プログラム(決算額 4,993千円)

福岡市において文化芸術活動を行い、今後の活躍が期待される団体・個人に対して、活動経費の一部を助成するとともに、専門アドバイザーによる助言・フォローアップや広報等の支援を行った。

① 助成概要

- 助成件数 14件(応募件数34件、採択件数16件(うち辞退2件))
- 分野内訳 「文化芸術普及活動助成」4件(うち辞退1件)
「発展活動助成」11件(うち辞退1件)
「文化芸術を通じた社会課題に係る取組助成(社会課題取組助成)」1件
- 助成額 3,450千円

② 助成の種類

【文化芸術普及活動助成】

市民に文化芸術の鑑賞の機会を提供する活動に対して助成

【発展活動助成】

申請者自らがさらなるステップアップを図る活動、または文化芸術分野の人材育成・環境整備に寄与する活動に対して助成

【文化芸術を通じた社会課題に係る取組助成(社会課題取組助成)】

団体自らのステップアップにとどまらず、文化芸術を通して様々な社会課題の解決に取り組むために、継続的・段階的な実施を必要とする活動に対して、最長2年間継続助成

③ 報告会

事業実施報告及び専門アドバイザーからのフィードバックや、参加者間での意見交換を実施した。

- 開催日 令和7年3月21日(金)
- 会場 福岡アジア美術館あじびホール
- 参加者 採択事業の団体・個人、専門アドバイザー

第3 文化芸術普及・情報発信事業の推進

(1) 文化芸術資源収集活用事業(決算額 51,061千円 ※美術品等購入費)

福岡市民の貴重な財産となる美術品、博物館資料等を、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館と共働して収集し、展示を通して市民が多様な文化芸術資料を身近に鑑賞する機会を創出した。

- 購入件数及び総額:217件 51,061,110円
- 売却件数及び総額:276件 40,872,850円

福岡市美術館	購入:彫刻等「+とー(プラスとマイナス)」	計 1点 (計 47,300,000円)
福岡アジア美術館	売却:立体「駱駝」	計 1点 (計 38,500,000円)
福岡市博物館	購入:古文書「福岡藩料理人頭西川家資料」ほか	計 216点 (計 3,761,110円)
	売却:古文書「『王丸文書』某袖判書下」ほか	計 275点 (計 2,372,850円)

(2) 文化芸術広報事業 (決算額 3,440千円)

1. 文化情報発信事業

① 財団機関誌「wa」の発行

財団事業をわかりやすく伝えるとともに、文化芸術活動者やイベントなどの紹介を通して福岡の文化芸術ファンを増やし、福岡の文化芸術の情報発信力向上の一翼を担った。

■発行状況：年2回(7月、11月)発行 20,000部

◎wa94・夏号

[Pick up Artist] イラストレーター 山田 全自動 氏

[掲載内容] FFAC 2024年度事業ラインアップ

FUKUOKA DANCE EXCHANGE 2024 レポート など

◎wa95・秋号

[Pick up Artist] 振付師 akane 氏 (アバンギャルディ プロデューサー)

[掲載内容] 福岡市民芸術祭「ありがとう市民会館～さよならステージ～」

社会参加促進事業「Lay Your Hands On Me-福岡スペシャル-」等のお知らせ

② ホームページ及び文化情報コーナー等による情報発信

財団ホームページ及び「WEBアトリエ」(文化情報サイト)並びに「文化情報コーナーアトリエ」を運営し、情報収集と発信を行った。また、個人に向けたメールマガジンの定期的な配信やSNSを活用したタイムリーな情報発信を行った。

[財団ホームページ] 訪問数:39,243件(3,270件/月)

[WEBアトリエ] 訪問数:9,081件(757件/月)

[メルマガ配信] 毎週木曜日発信 有効登録者数:1,868人

(3) ミュージアム連携事業 (グッズ・叢書・三館支援) (決算額 17,796千円)

福岡市美術館及び福岡アジア美術館、福岡市博物館の収蔵品をモチーフとしたオリジナルミュージアムグッズや三館収蔵品等に関する図録・叢書等の製作、販売を行い、三館の魅力や所蔵の文化芸術資料等のPR・広報を推進した。

1. 主な売上

・金印グッズ(レプリカ、スタンプ、ストラップ ほか) 計 10,852点 7,149,656円

・刀剣グッズ(御刀印帳 ほか) 計 13,487点 5,792,606円

2. 令和6年度 新規販売グッズおよび売上

・福岡おさんぽボールペン(2本組) 計 217点 175,230円

(4) 賛助会「wa+club(わたすクラブ)」事業 (決算額 587千円)

市民の芸術鑑賞機会の増大と福岡市の更なる文化芸術活動の振興を目的に、財団事業をはじめとする文化芸術のサポーターとして加入促進を図るとともに、会員特典の充実を図り、会の魅力向上に努めた。

1. 会員数及び会費

- ・個人会員:445人 2,000円
- ・法人会員:8団体・10口 30,000円/1口

2. 会員特典

- ・福岡市美術館、福岡アジア美術館及び福岡市博物館の常設展並びに九州産業大学美術館の無料観覧
- ・財団及び福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館の機関誌や文化芸術情報等の定期送付(年3回)
- ・会員対象イベントの実施
- ・福岡市総合図書館映像ホール「シネラ」の入場料割引
- ・市外の美術館など提携施設の入場料割引等
- ・提携団体チケット優待(博多座、九州交響楽団、キャナルシティ劇場等)
- ・会員限定メールマガジンの配信

(5) 福岡音楽都市協議会 (決算額 4,232千円)

福岡を日本・アジアを代表する音楽都市にすることを目指し設立された福岡音楽都市協議会の事務局として、Webメディア「OTOJIRO」を通じた福岡の音楽関連情報の発信や「FUKUOKA STREET LIVE」等の実施により、まちの賑わい創出などに取り組んだ。